

2022年度業務実績報告書

提出日 2022年 12月 28日

1. 職名・氏名 准教授 熊谷あゆ美

2. 学位 博士、専門分野 保健学、授与機関 金沢大学、授与年 2019年3月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等

●学部

- ・成人急性看護学（2単位）2年次後期
- ・成人急性看護学演習（1単位）3年次前期
- ・成人急性看護学実習（2単位）3年次前期
- ・成人急性卒業研究（3単位）4年次通年

●研究科

- ・看護研究方法論（2単位）1年次前期
- ・成人看護学特論（4単位）1年次前期

②内容・ねらい

●学部

- ・成人急性看護学：急性期にある患者の看護について、基礎的知識を学修する。
- ・成人急性看護学演習：急性期にある患者に必要な看護を、根拠に基づいて学修する。
- ・成人急性看護学実習：急性期にある患者に必要な看護を、実践を通して学修する。
- ・成人急性卒業研究：急性期にある患者の研究課題を明確にし、研究方法を学修したうえで研究を行い、論文にまとめる

●研究科

- ・看護研究方法論：看護学領域における研究課題に沿った研究方法等一連の研究プロセスを、学修する。
- ・成人看護学特論：成人期の健康課題の理解を深め、実践に有効な概念・理論について、学修する。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

●学部の成人急性看護学、成人急性看護学演習、成人急性看護学実習、成人急性看護学卒業研究を担当した。

- ・講義、演習、実習において、ZOOMやGoogle Classroomを活用し、オンライン授業やオンデマンド授業を行った。また、DVDの活用や自身の経験をもとにした急性期看護の実際を講義、演習、実習に組み込んだ。
 - ・講義や演習において、アクティブラーニングや反転授業を取り入れた。
 - ・実習において、時間内に学生の学修の理解度に合わせて個別指導を行った。また、受け持ち患者の手術見学时に手術室へ行き、麻酔・手術侵襲の実際をレクチャーした。
 - ・実習の学内演習において、術直後の観察の理解を深めるために、ハイブリッドシミュレータ（SCENARIO）とデブリーフィング（ふりかえ朗）を使用した。また、実際の手術で使用する器械と材料を用いて、器械出しのシミュレーションを行った。
 - ・卒業研究において、担当した2名の学生に対し、定期的な学生と連絡を取り合った。Google Classroomを活用し、対面や遠隔（ZOOMやGoogle Meet）で、論文執筆を指導した。
- 研究科の看護研究方法論、成人看護学特論を担当した。
- ・ZOOMやGoogle Classroomを活用し、オンライン授業やオンデマンド授業を行った。

(2)その他の教育活動
内容 ●学年副担任として、担当する学生の面談や新型コロナウイルス感染症対応を、土日祝日を問わず行った。また、国家試験対策模試に関する計画立案や周知を行った。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【 本】
②学術論文（査読あり）	【 本】
③その他論文（査読なし）	【 本】
④学会発表等 ●*熊谷あゆ美, 須釜淳子. 腹臥位手術における褥瘡予防のためのマットレスの硬さと圧力やずれ力の関係, 第 52 回日本創傷治癒学会, 2022. 11. (査読あり)	【1 件】
⑤その他の公表実績	【 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
●熊谷あゆ美（研究代表者）, 若手研究 令和 3 年～5 年 4,400,000 円 「応力解析による腹臥位手術の褥瘡予防に有効なマットレスの硬さと学習モデルの開発」	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	
●日本手術看護学会、看護実践学会、日本褥瘡学会、日本創傷・オストミー・失禁管理学会、日本感染環境学会、看護理工学会、日本看護科学会、日本創傷治癒学会 会員 ●看護理工学会査読委員 ●日本褥瘡学会評議員 ●第 52 回日本創傷治癒学会実行委員（2022 年 11 月名古屋）	

5. 地域・社会貢献活動

●福井県立大学開放講義

羽水高校で学科・コース概要および自身の研究等の開放講義を行った。

●福井県立大学公開講座

看護・医療職リカレント教育の一環として、自身の研究紹介「手術室の褥瘡予防ー外力と応力のメカニズムー」の公開講座を行った。

●福井県立大学臨床看護研究指導

福井済生会病院集中治療センターの看護師に量的研究デザインによる研究指導を行った。定期的に対面、ZOOM やメールで、研究倫理、研究計画、データの収集、分析、結果、考察、結論までの一連の研究過程を指導し、論文を執筆することができた。

6. 大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

●委員会・チーム活動

- ・修士論文委員会 (2022年4月～現在に至る)
- ・学部広報ワーキング (2022年4月～現在に至る)
- ・県立病院実習学生駐車場担当 (2021年4月～現在に至る)

以上の委員として、与えられた役割を遂行した。

(3)学内行事への参加

●学内行事

成人急性看護学領域のオンデマンド型と対面型のオープンキャンパスを準備し、感染予防を行い開催した。

(4)その他、自発的活動など